



振動応用技術で、世界をひらく

高周波48Vシリーズ 高周波エンジン発電機 取扱説明書



HAG 122MH・134MHA

★お買い上げありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

エクセン株式会社

☆ 安全情報

- ☆ この製品は高周波 48 V バイブレータ専用電源の高周波エンジン発電機です。高周波 48 V バイブレータの使用以外の目的では使用しないでください。
- ☆ 製品の安全性については十分に配慮していますが、この説明書の危険、警告、注意をよくお読みいただき正しくお使いください。また、高周波 48 V バイブレータの取扱説明書もお読みください。
- ☆ 下記の表示は万一にも他人や自分に障害や損害を与えることのないように、この製品を使用していただくための危険表示・警告表示・注意表示です。

	危険 (DANGER)	【危険】は、死亡または重傷を負う可能性のある切迫した危険な状況を示す表示
	警告 (WARNING)	【警告】は、死亡または重傷を負う可能性のある危険な状況を示す表示
	注意 (CAUTION)	【注意】は、軽傷または中程度の障害を負う可能性のある危険な状況を示す表示

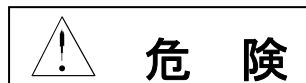
- ☆ 国内排出ガス自主規制について



このラベルは（社）日本陸用内燃機関協会の小型汎用ガソリンエンジン排出ガス自主規制に適合していることを示しています。

自主規制の内容については、下記ホームページでご覧いただけます。

<http://www.lema.or.jp/>



(死亡事故を受けないために)

⚠ 燃料給油時は必ずエンジンを停止してください。エンジンが十分冷えてから行ってください。こぼれた燃料はふき取ってください。引火する恐れがあります。

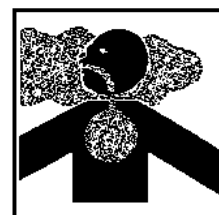
⚠ 燃料の給油は屋外の火気がない場所で行ってください。引火する恐れがあります。



(死亡事故を受けないために)

⚠ この製品は気密性の高い場所や換気の悪い場所では使用しないでください。

排気ガス中毒や酸欠状態になり死亡する恐れがあります。



⚠ この製品に燃料を給油する場合は、燃料キャップをはずし注入口のレベル（給油限界位置）を超えないように給油してください。レベルを超えて給油すると燃料が漏れる恐れがあります。給油後は燃料キャップを確実に締め付けてください。

燃料の給油限界位置については、エンジンの取扱説明書を参照してください。

⚠ エンジンの燃料タンクに燃料が入った状態で、自動車の荷台などに載せて運ばないでください。燃料がこぼれて火災になる恐れがあります。

⚠ 燃料がこぼれたら、きれいにふき取ってください。火災になる恐れがあります。

⚠ この製品には乗らないでください。

⚠ 雨や水の掛かる所では使用しないでください。感電する恐れがあります。

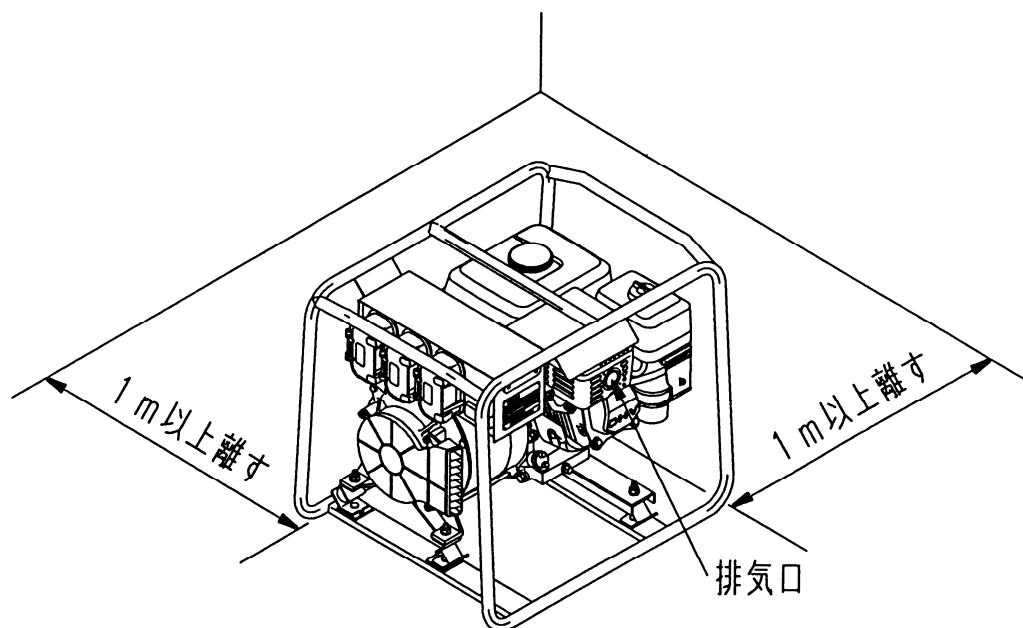
⚠ 燃料は無鉛ガソリンを使用してください。他の燃料を使用するとエンジン性能の低下、故障、事故の原因になります。

⚠ エンジンの取り扱いは付属のエンジン取扱説明書を熟読してから取り扱ってください。

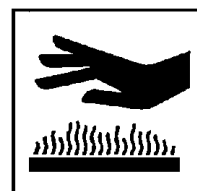
 注 意

(障害や損害を受けないために)

 発電機を設置する場合は、建物および他の設置物から 1 m 以上離してください。



 この製品を運転中や停止直後に発電体・マフラーなどの発熱部には絶対触れないでください。やけどします。



やけど注意

 騒音の大きい作業では防音保護具を着用してください。



防音保護具着用

○ ま え が き

このたびは高周波エンジン発電機をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

また、エンジンに関する取り扱いについてはエンジンの取扱説明書をお読みください。

この製品の性能を十分に理解して適切な取り扱いと点検整備を行い、いつまでも安全に効率よく使用されるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

も く じ

☆ 安 全 情 報	1
○ ま え が き	4
○ 安 全	5
○ 使用可能台数	6
○ システム構成	7
○ 各部の名称	8
○ 操作上の説明	9
○ 使用後の清掃	1 1
○ 点 検	1 2
○ 消耗部品の交換時期	1 3
○ 故障診断	1 3
○ 仕様・製品寸法	1 4

○ 安 全



(作業上身を守るために)

- バイブレータを使用する場合は安全帽・安全手袋・安全靴および防音保護具を着けて、安全な装備で行ってください。



安全帽着用



安全手袋着用

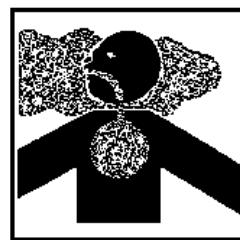


安全靴着用



防音保護具着用

- この製品は気密性の高い場所や換気の悪い場所では使用しないでください。排気ガス中毒になります。



- 作業中、本体の周りに燃えやすいもの（おが屑・紙屑および木屑など）や危険物（油脂類・石油類など）を近づけないでください。
- この製品を運搬する場合は必ず2人で持って運んでください。

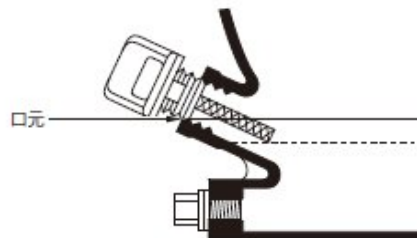


(末永く使用していただくために)

- この製品のエンジンを始動する前に必ずオイル給油キャップをはずし、オイル量を点検してください。オイルが不足・劣化していると摺動部や回転部の寿命を著しく縮めます。オイルの交換時期、オイル量を守ってください。

型 式	オイル量
HAG 1 2 2 MH	0. 5 8 L
HAG 1 3 4 MHA	0. 6 0 L

※ オイルの点検および交換方法は、エンジンの取扱説明書を参照してください。



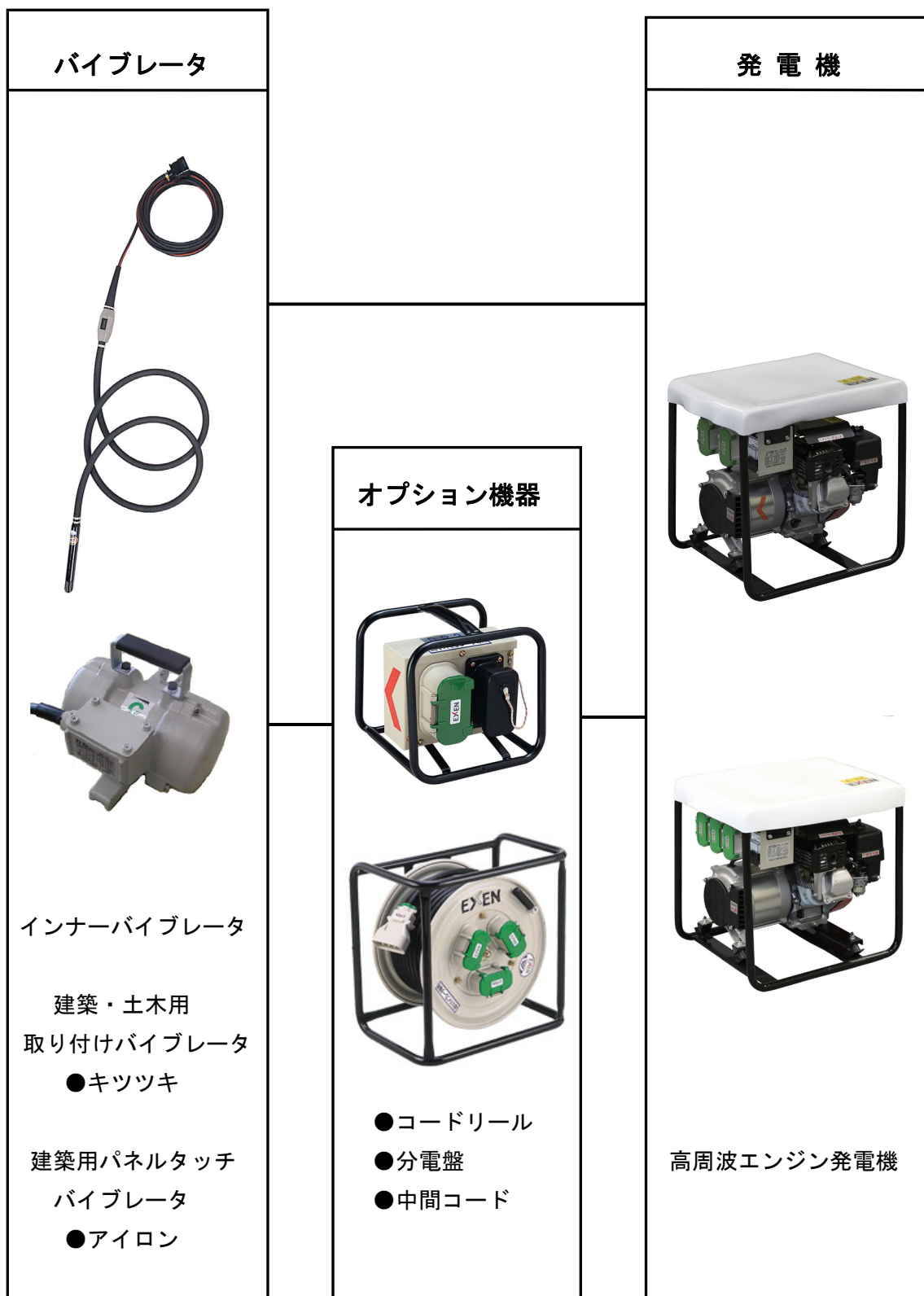
- オイル量の点検は、エンジンが傾斜していると油量の確認ができないため水平にして行ってください。
- オイル量の点検はオイルが冷えている状態、またはエンジン停止後5分ほどしてから行ってください。
- この製品は過負荷では使用しないでください。故障する恐れがあります。
※ 使用可能台数を参照してください。
- 雨の日は屋外で使用しないでください。
- エンジン回転数は絶対に変更しないでください。故障の原因となります。
- エンジンを保守・点検する場合は付属のエンジン取扱説明書を参照してください。

○ 使用可能台数

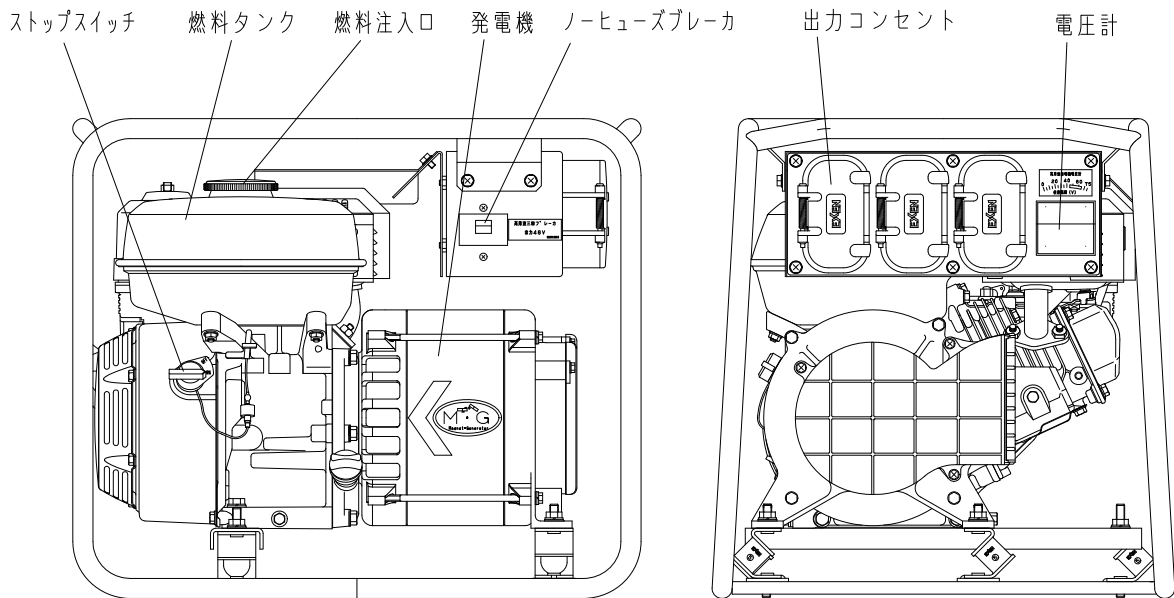
型 式	HBM 高周波バイブレータ			
	3 0	4 0	5 0	6 0
HAG 1 2 2 MH	6	4	2	1
HAG 1 3 4 MHA	1 1	7 (6)	4 (3)	3 (2)

※ 表中（ ）内の数字は、バイブレータが同時に連続過負荷の状態で使用したときを想定した使用可能台数です。

○ システム構成



○ 各部の名称



○ オイルセンサー（アラート）機構

エンジンには、オイルセンサー（アラート）機構（焼き付き防止エンジン自動停止装置）が内蔵されているため運転中にエンジンオイルが不足すると、エンジンは自動的に停止します。エンジンオイル量を点検し補給してください。（点検・補給はエンジンの取扱説明書を参照してください。）オイルが規定の量が入っていても本機が傾斜しているとオイルセンサー（アラート）機構が働きエンジンが停止することがあります。

○ 操作上の説明

⚠ この製品を使用する場合は、凹凸の少ない場所に設置してください。また、気密性の高い場所や換気の悪い場所では使用しないでください。取り扱いには十分気を付けて作業を行ってください。

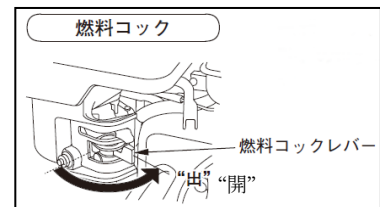
注) この製品のエンジンは高速回転に固定しています。低速回転では運転できません。

1. 運 転

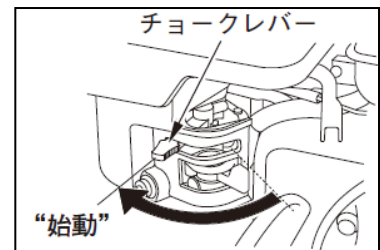
1. ノーヒューズブレーカを“OFF”にしてください。

2. エンジンを始動させてください。

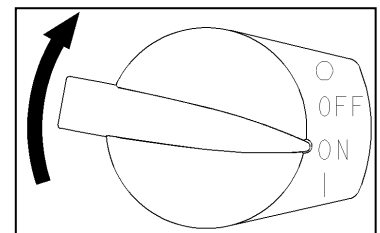
2.1 燃料コックレバーを“出”の位置に合わせます。



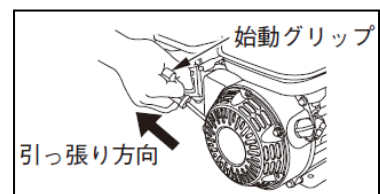
2.2 寒いときやエンジンがかかりにくい場合には
チョークレバーを“始動”の位置に合わせます。
※ エンジンが暖まっているときは操作不要です。



2.3 エンジンスイッチを“ON”（運転）の位置に
してください。



2.4 作業機側の安全な部分をしっかりと押さえ、始動
グリップを静かに引き、重くなる所で止めます。
次に矢印方向に強く引っ張ります。

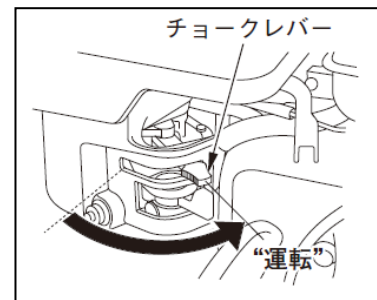


※ 始動グリップを引いたまま手を放さないでください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。

※ 運転中は始動グリップを引かないでください。エンジンに悪影響をあたえます。

2.5 2～3分間暖機運転を行ってください。

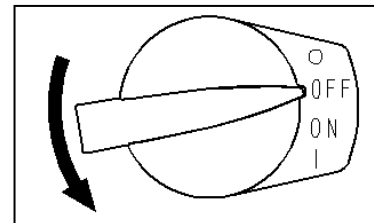
2.6 チョークレバーを“始動”にした際、エンジンが安定することを確認しながら徐々に“運転”の方向に戻します。



3. エンジンや発電機内部に異音などないことを確認してください。
4. 電圧計の指針が安定しグリーンの範囲(4.5V～6.5V)にあることを確認してください。
5. ノーヒューズブレーカを“ON”にします。
6. バイブレータのスイッチが“OFF”であることを確認します。
7. バイブレータのプラグを発電機のコンセントに差し込みます。
8. バイブレータのスイッチは1台ずつ“ON”にしてください。
※ バイブレータのスイッチを2台同時に作動させたり、ノーヒューズブレーカで作動させたりしないでください。

2. 停 止

1. バイブレータのスイッチを“OFF”にします。
2. バイブレータのプラグをコンセントから抜き取ります。
3. ノーヒューズブレーカを“OFF”にします。
4. エンジンを停止してください。
4.1 エンジンスイッチを“OFF”（停止）の位置に回します。

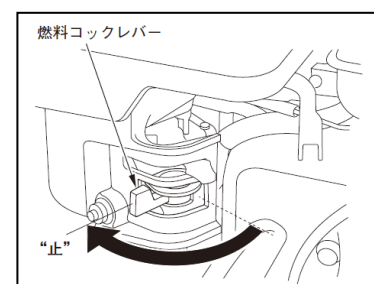


4.2 燃料コックレバーを“止”の位置に合わせます。

《注意》

運転休止時は燃料コックを必ず“閉”状態にしてください。

※ 始動方法・停止方法はエンジンの取扱説明書も参照してください。



⚠ **発電機にシートなどを掛ける場合は、エンジンを十分に冷やしてから掛けてください。**

○ 使用後の清掃

○ 使用後はきれいに清掃してください。

1. 本体に付いたコンクリートは固まる前に落としてください。
2. コンセントに付いたほこりやコンクリートはきれいに落としてください。
3. 発電機は水洗いしないでください。

○ 点 検

○ 現場へ搬入する前と使用後は必ず次の項目を点検してください。使用中のトラブルをできるだけ少なくするためです。

1. コンセントに汚れや錆などが発生していないか？
2. エンジンオイル量は適量か？
3. エンジンオイルは汚れていないか？
4. 燃料漏れはないか？
5. 運転音（エンジン音）は正常か？
6. 出力電圧は三相共バランスが取れて安定しているか？

○ 消耗部品の交換時期

○ 消耗部品の交換は次の項目を参考にして確実に行ってください。

消耗部品	視覚による交換時期の判断	交換時期（目安）
オイル	オイルの汚れ・減り具合で判断	初回： 1 カ月、または 2 0 時間どちらか早いほうで実施 2 回目以降： 6 ヶ月、または 1 0 0 時間毎に実施

※ 消耗部品の交換時期は目安時間です。

使用状況により異なりますので早めの交換をおすすめします。

※ エンジンオイルの交換方法はエンジンの取扱説明書を参照してください。

＜推奨オイル＞（4 サイクルガソリンエンジンオイル）

ホンダ純正ウルトラU汎用（S A E 1 0 W－3 0）またはA P I 分類S E 級以上のS A E 1 0 W－3 0 オイルを使用してください。

○ 故障診断

現 象	症 状	原 因	処 置
運転できる	電圧が出ない （安定しない）	リード線の断線または 接触不良	修理
		ステータ巻線の レアショートまたは断線	ステータ巻き替えまたは交換
	異音がする （金属音など）	軸受異常（ゴロツキ・摩耗）	ベアリング交換
		ロータ、ステータの接触	修理
	振動が多い	据え付けが悪い	安定する位置に据える
		軸受異常	ベアリング交換
運転できない	回転する	燃料不足	燃料補給
		オイルセンサー（アラート） の作動	オイルの交換または補給
		点火プラグ	点火プラグ清掃・調整・交換
	まったく 回転しない	軸受異常（ロック・破損）	ベアリング交換
		エンジン不良（焼きつき）	エンジンの修理または交換

※ 修理やオーバーホールをする場合は専用工具が必要です。最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

○ 仕様・製品寸法

■ 仕様

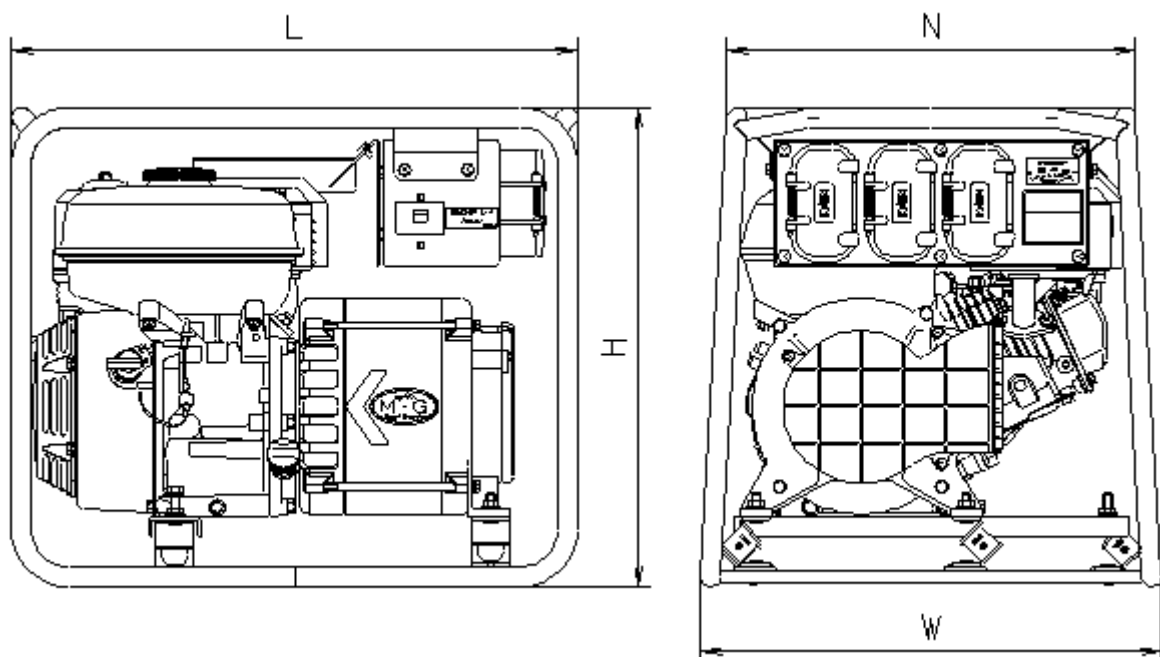
型式	高周波エンジン発電機								
	出力 (kVA)	電圧 (V)	電流 (A)	周波数 (Hz)	エンジン			出力 コンセント数	質量 (kg)
					型 式	最大 出力 (kW)	連続定格 出力 (kW/min ⁻¹)		
HAG122MH	2.2	48	26.5	240	GX160T2 VXJE	3.6	2.9/3600	2	36
HAG134MHA	3.4		40.9		GX200T2 VXJE	4.1	3.7/3600	3	40

■ 製品寸法表

単位：mm

型 式	L	W	H	N
HAG 1 2 2MH	5 4 0	4 4 0	5 2 1	3 9 0
HAG 1 3 4MHA				

■ 製品寸法図





本社	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8455	FAX 03-3434-1658
草加工場	〒340-0003	草加市稲荷 5-26-1	TEL 048-931-1111	FAX 048-935-4473

<https://www.exen.co.jp/>